9A08951002

TEAC

SL-D80

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

目覚まし機能付AM/FMステレオラジオCDプレーヤー
取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために . . 2
コンパクトディスクについて . . 4
準備 5
各部の名称 6
ラジオを聴くには 8
CDを聴くには 9
リピート再生 11
シャッフル再生 11
プログラム再生 12
時刻合わせ 14
タイマー 14
スリープタイマー 16
お手入れ 16
おや？故障かな？ 17
仕様 18
保証とアフターサービス 19

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	通風孔に異物を入れない。 内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**通風孔をふさがない。** 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
	分解や改造をしない。 キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
 一般的な強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
一般的な強制	**電源を入れる前には音量を最小にする。** 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	ディスクの挿入口に手を入れない。 特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

コンパクトディスクについて

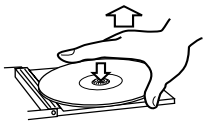
本機では、以下のディスクが再生できます。

・ マークのある音楽用CD(12cm/8cm)
・ 正しい方法でファイナライズされたCD-R

注意：

・ CD-Rは、ディスクの品質や録音の状態によっては、再生できないことがあります。
・ CD-RWは再生できません。

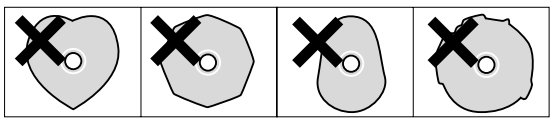
●ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトデイスクの録音/再生は片面だけです。)
●ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



●信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

●レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
●直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
●ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
●使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

●ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
●市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
●ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
●ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



結露現象について

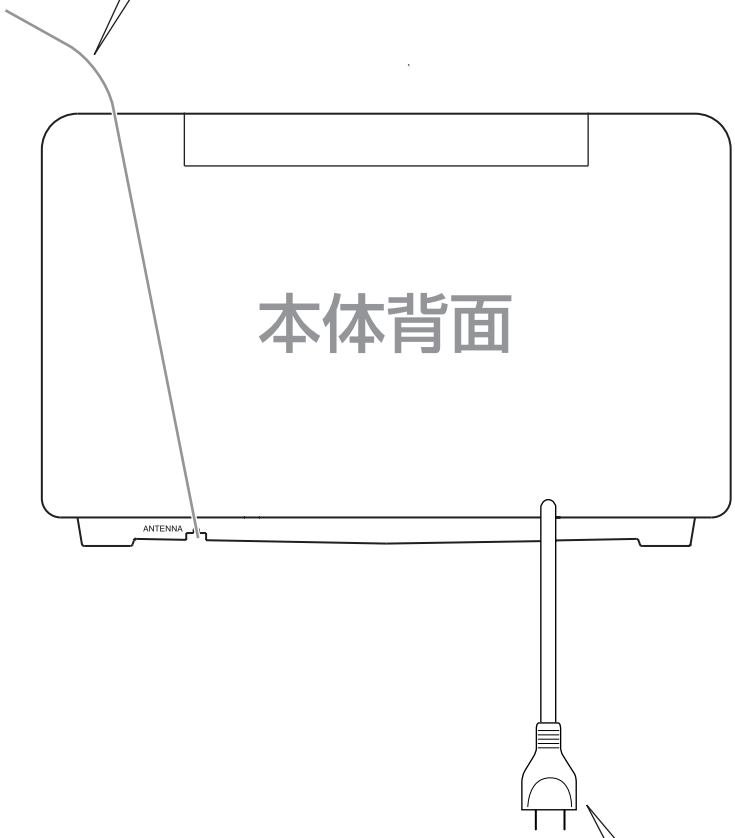
本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

準　備

FMアンテナ

FM放送を受信して、受信状態が良い位置を探してから、壁や天井に画鋲やテープなどで固定してください。

- ラジオの受信方法については8ページをお読みください。
- 感度が悪くなりますので、アンテナは束ねないでください。

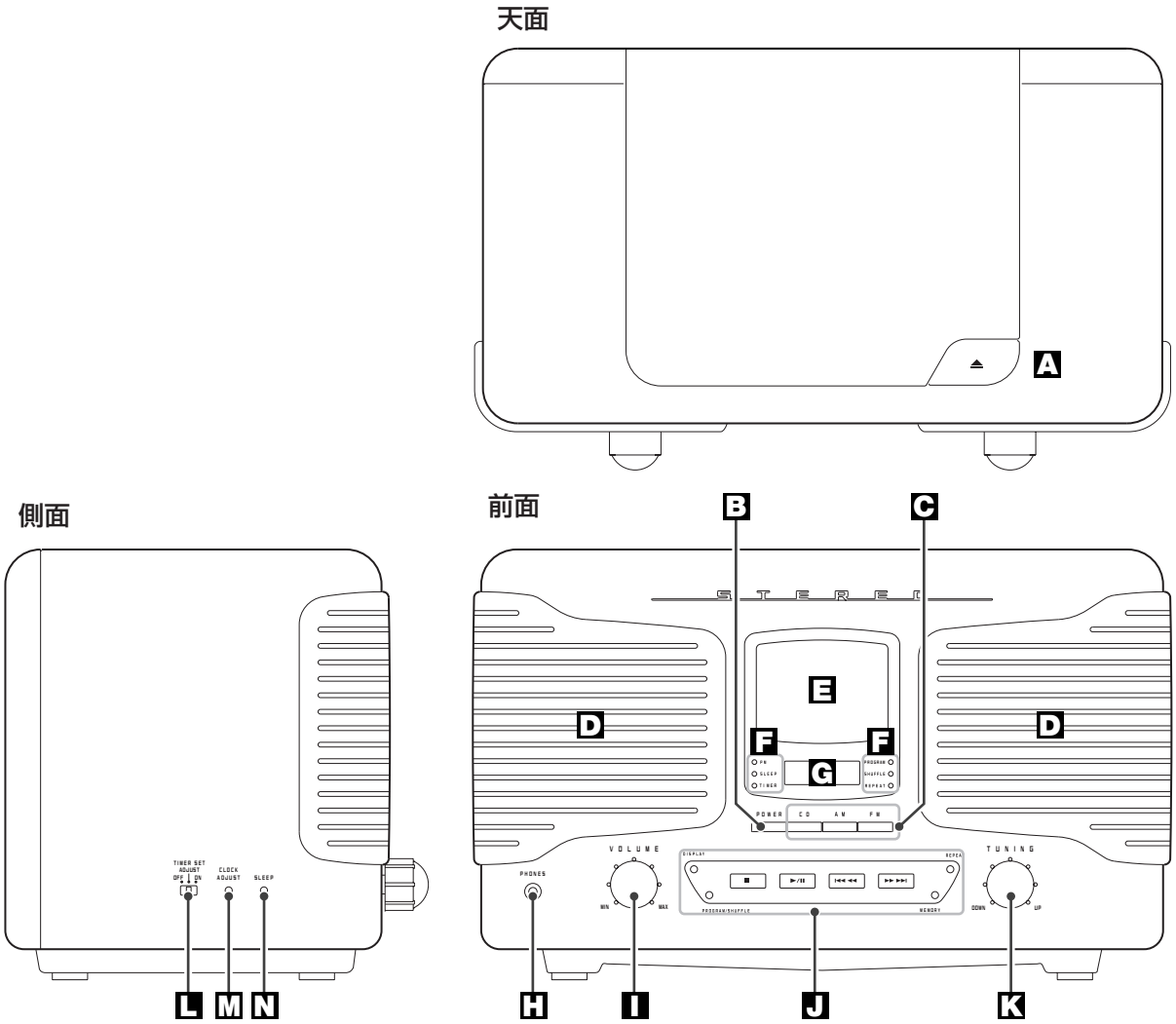


電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

各部の名称



A ▲ボタン

このボタンを押すと、CDのカバーが開きます。カバーを閉めるときは、カバーの中央から右寄りの部分を手で押して閉めてください。

B 電源ボタン [POWER]

電源のオンとオフを切り換えます。

C 機能切換ボタン [CD/AM/FM]

CDを聴くときはCDボタン、AM放送を聴くときはAMボタン、FM放送を聴くときはFMボタンを押してください。

D スピーカー(ステレオ)

ステレオの音声をお楽しみいただけます。

E 文字盤(周波数表示)

電源がオンのときは明るくなります。
ラジオを聴くときは、選局つまみをまわして聴きたい放送局に合わせてください。

F インジケーター

PM ：時刻がPMのときに点灯
SLEEP ：スリープタイマーが設定されているときに点灯
TIMER ：タイマーがオンのときに点灯
PROGRAM：プログラム再生モードのときに点灯
SHUFFLE ：シャッフル再生モードのときに点灯
REPEAT ：リピート再生モードのときに点灯/点滅

G ディスプレー

時刻や曲番が表示されます。

H ヘッドホンジャック(ステレオ) [PHONES]

ヘッドホンを使用するときは、ここにヘッドホンプラグを差し込み、適切な音量に調節してください。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は出ません。

- モノラルのイヤホンもお使いいただけます。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

I 音量つまみ [VOLUME]

音量つまみを左右に回して調節してください。

J CD操作ボタン

機能切換ボタンで"CD"が選ばれているときしか操作できません。

停止ボタン [■]

CDの再生を停止します。

再生/一時停止ボタン [►/II]

CDを再生または一時停止します。

スキップ/サーチボタン [I◄◄ ◄◄/►► ►►I]

前または後ろの曲にスキップします。

再生中に押したままでいると、早送り/早戻しができます。

リピートボタン [REPEAT]

リピート再生のモードを切り換えます。

メモリーボタン [MEMORY]

CDのプログラムに使用します。

プログラム/シャッフルボタン [PROGRAM/SHUFFLE]

プログラム再生モードまたはシャッフル再生モードに切り換えます。

ディスプレーボタン [DISPLAY]

CDの再生または停止中にこのボタンを押すと、曲番または総曲数が4秒間表示されたあと、時刻表示に戻ります。

K 選局つまみ [TUNING]

つまみを回して聴きたい放送局に合わせてください。

L タイマースイッチ [TIMER SET]

タイマーの設定に使用します。通常はオフにしておいてください。

M 時刻設定ボタン[CLOCK ADJUST]

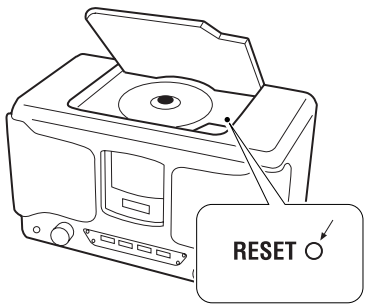
このボタンを押した状態で、スキップ/サーチボタンを押して時刻を合わせてください。

N スリープボタン [SLEEP]

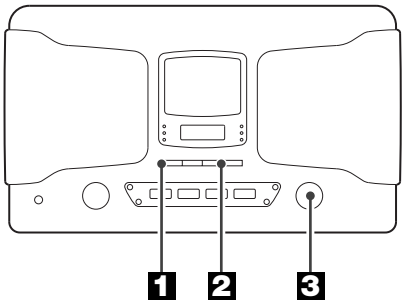
スリープタイマーを設定します。

リセットするには

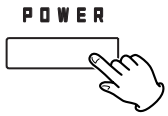
本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズなどによって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は、リセットスイッチ(RESET)を鉛筆などの先端で軽く押して、マイコンをリセットしてください。



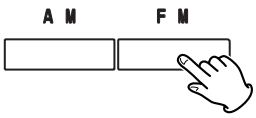
ラジオを聴くには



1 電源を入れる。

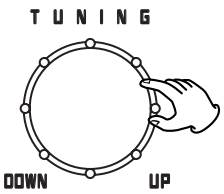


2 AMまたはFMボタンを押す。



AMまたはFMの文字盤が明るくなります。

3 選局つまみを回して放送局を選ぶ。



● 聴き終わったら、POWERスイッチを押して電源を切ってください。

より良く受信するために

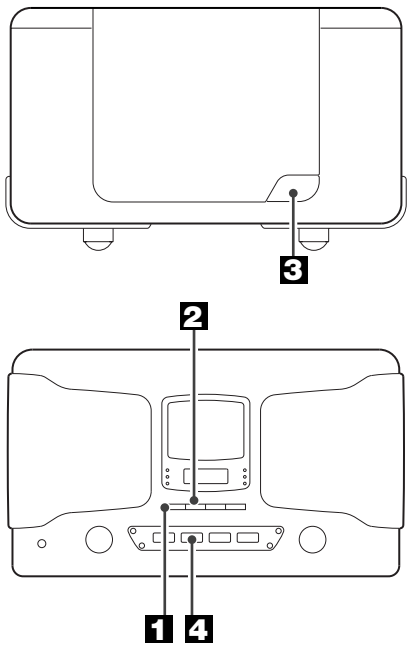
AM放送の場合

AMアンテナは本体に内蔵されています。受信状態の良い方向に本体を向けてください。

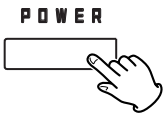
FM放送の場合

FMアンテナを斜め上に伸ばし、受信状態の良い位置に固定してください。

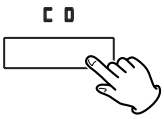
CDを聴くには

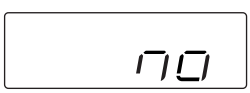


1 電源を入れる。



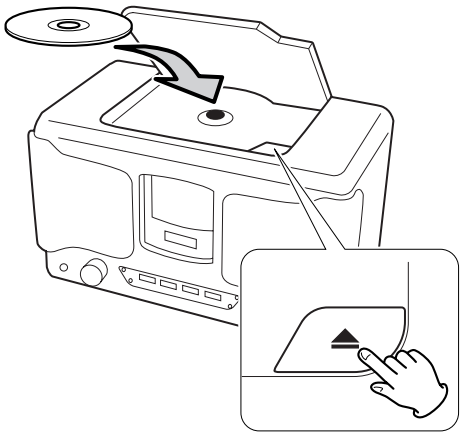
2 CDボタンを押す。





- ディスクがが入っていないときは、ディスプレーに"no"が4秒間表示されたあと、時刻表示に戻ります。

3 CDを入れる。



本体上部の⏏ボタンを押してカバーを開きます。CDのレーベル面を上にして、ディスクの穴をポールにしっかりとはめ込んでから、カバーの右側を手で押して閉めてください。(カバーの左側を押しても閉まりません。)

- ディスプレーにディスクの総曲数が4秒間表示されたあと、時刻表示に戻ります。
- ディスクを外すときは、ディスクの両端を持って上に持ち上げてください。

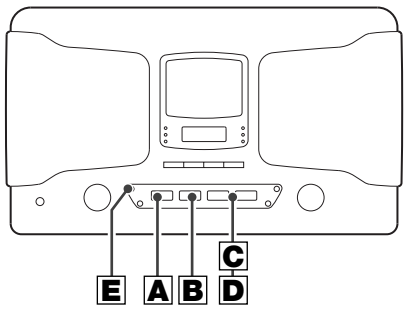
4 再生/一時停止ボタン(►/II)を押す。

一曲目から再生が始まります。音量つまみを左右に回して音量を調節してください。

- カバーを開閉した直後は、再生/一時停止ボタンやスキップ/サーチボタンを押しても反応しません。ディスプレーにCDの総曲数が表示されるまでお待ちください。

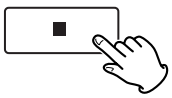
⚠ 再生中は、停止ボタンを押して再生を止めてからカバーを開いてください。再生中にカバーを開くと、怪我や故障の原因となることがあります。

CDを聴くには（続き）



A 再生を止めるには

停止ボタン(■)を押すと再生が止まります。



B 再生を一時停止するには

再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が一時停止します。もう一度押すと再び再生を始めます。

C 聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にスキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

D 選曲するには(スキップ)

再生中にスキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生します。(再生中にI◄◄ ◄◄を一回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄ ◄◄を続けて押してください。)一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になり、再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が始まります。

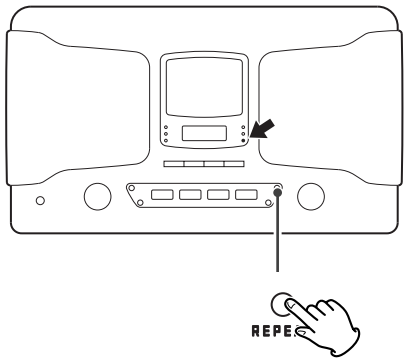
停止中は、曲番を選んでから4秒以内に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、再生が始まります。

E 曲番または総曲数を表示するには

CDの再生中にDISPLAYボタンを押すと、ディスプレーに再生中の曲番が4秒間表示されたあと時刻表示に戻ります。

停止中にDISPLAYボタンを押すと、ディスクの総曲数が4秒間表示されたあと時刻表示に戻ります。

リピート再生



REPEATボタンを押すたびに、リピート再生のモードが以下のように変わり、リピートインジケーターが点滅または点灯します。

→ 一曲リピート（点滅）→ 全曲リピート（点灯）
オフ(消灯) ←

一曲リピート

再生中にREPEATボタンを1回押すと、リピートインジケーターが点滅し、再生中の曲がくり返し再生されます。一曲リピート再生中にスキップ/サーチボタンで他の曲を選ぶと、その曲のくり返し再生に変わります。また、停止中に一曲リピートに設定してからスキップ/サーチボタンで曲番を選び、4秒以内に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、その曲がくり返し再生されます。

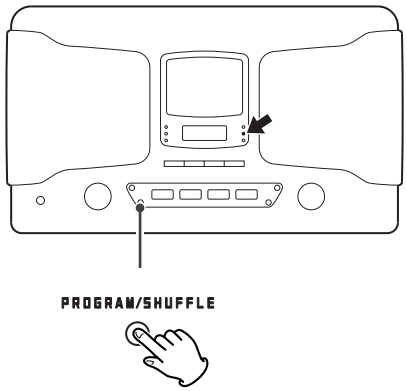
全曲リピート

再生中にREPEATボタンを2回押すと、リピートインジケーターが点灯し、CDの全曲がくり返し再生されます。REPEATボタンをもう一度押すと通常の再生に戻ります。停止中は、REPEATボタンで全曲リピートを選んでから再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押して再生を始めてください。

●リピート再生モードを解除したいときは、REPEATボタンを押してリピートインジケーターを消灯させてください。また、以下のボタンを押すとリピート再生モードは解除されます。

▲ボタン、停止ボタン(■)、POWERスイッチ、
AMまたはFMボタン

シャッフル再生



停止中または再生中にPROGRAM/SHUFFLEボタンを押すたびに、再生のモードが以下のように変わります。シャッフル再生モードで再生すると、ディスクの曲がランダムに再生されます。

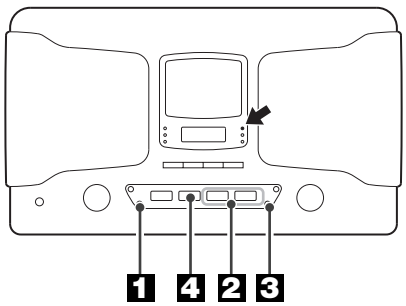
→ シャッフル再生 → プログラム再生
通常の再生 ←

シャッフル再生モードを選ぶと、シャッフルインジケーターが点灯します。再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すとシャッフル再生が始まります。

●何もプログラムされていないときは、プログラム再生モードは表示されません。ボタンを押すたびに、シャッフル再生モードと通常の再生モードが切り換わります。
●シャッフル再生中にスキップ/サーチボタン(►► ►►I)を一回押すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ ◄◄を押すと、現在の曲の頭に戻ります。
●全ての曲の再生が終わると停止します。
●シャッフル再生モードを解除したいときは、PROGRAM/SHUFFLEボタンを押して通常の再生モードを選んでください。また、以下のボタンを押すとシャッフル再生モードは解除されます。

▲ボタン、POWERスイッチ、
AMまたはFMボタン

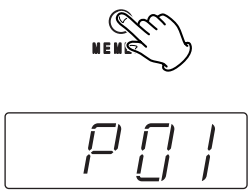
プログラム再生



CDの任意の曲を好きな順番に、最大20曲までプログラムして再生することができます。プログラムは停止中に行ないます。

● あらかじめCDをセットしておいてください。機能切換がAMまたはFMになっていた場合は、CDボタンを押してCDに切り換えてください。

1 停止中にMEMORYボタンを押す。



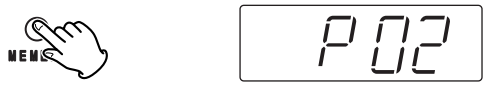
プログラムインジケーターが点滅し、プログラム番号(P01)が表示されます。

● 7秒以上放置すると、プログラムモードは解除されます。

2 スキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を使ってプログラムする曲番を選ぶ。

曲番が点滅します。

3 MEMORYボタンを押す。



選んだ曲番がプログラムされ、次のプログラム番号(P02)が表示されます。
複数の曲目をプログラムするときは、**2**と**3**の操作を繰り返してください。

● プログラムを中断したい場合は、停止ボタン(■)を押してください。

● 20曲を越えると、最初にプログラムした曲番が表示されます。それ以上プログラムしようとすると、プログラムを上書きすることになりますのでご注意ください。

4 再生/一時停止ボタン(►/II)を押す。

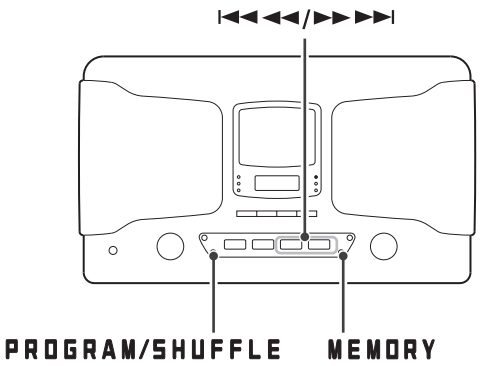
プログラムした曲の再生が始まります。

● **3**のあと7秒以上放置するとプログラムインジケーターが消灯しますが、プログラムした内容は残っています。PROGRAM/SHUFFLEボタンを2回押してプログラムインジケーターを点灯させてから、再生/一時停止ボタン(►/II)を押してください。

● 電源を切ったり、AM/FMに切り換えても、プログラムした内容は残っています。プログラムインジケーターが点灯した状態で再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、再びプログラム再生を始めます。

● プログラム再生中にスキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を押すと、プログラムされた順番にスキップします。

● プログラム再生モードのときは、停止中にスキップ/サーチボタンを押しても機能しません。



A プログラムした内容を確認するには

停止中にMEMORYボタンをくり返し押すと、プログラムした曲番が順番に表示されます。

B プログラムの最後に曲を追加するには

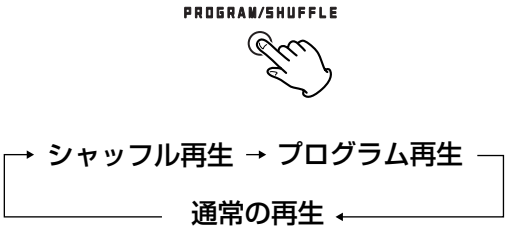
停止中にMEMORYボタンをくり返し押すと、最後にプログラムされた曲番のあとにプログラム番号(P02～P20)が表示されます。スキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)でプログラムしたい曲番を選んでMEMORYボタンを押すと、プログラムの最後に曲が追加されます。

C プログラムの一部を変更するには

停止中にMEMORYボタンをくり返し押して、変更したい曲番を表示させます。
スキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)で曲番を選んでMEMORYボタンを押すと、新しい曲番に上書き変更できます。

D 通常の再生モードとプログラム再生モードを切り換えるには

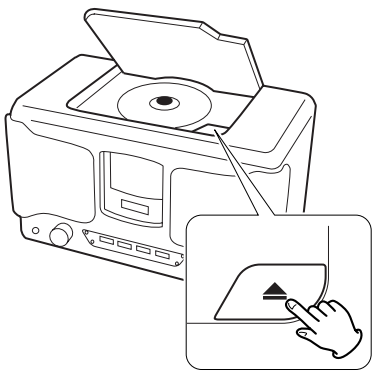
PROGRAM/SHUFFLEボタンを押すたびに、再生のモードが以下のように変わります。



プログラムインジケーターを点灯させてから再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、プログラム再生になります。

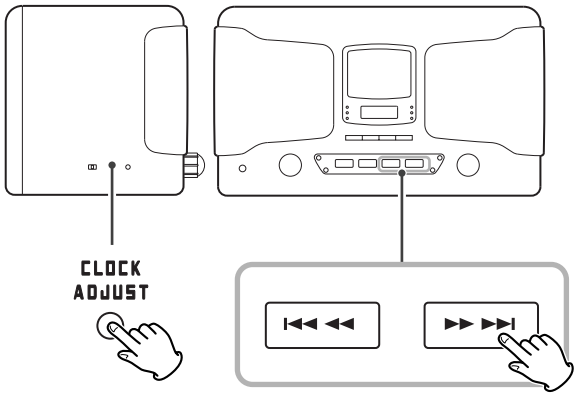
- 通常の再生中にプログラム再生モードに切り換えた場合は、その曲の再生を中断してプログラムされた曲の再生を始めます。

E プログラムを消去するには



▲ボタンを押してカバーを開閉すると、プログラムが全て消去されて通常の再生モードになります。
停止中にMEMORYボタンを押してから停止ボタン(■)を押すと、プログラムが全て消去されて通常の再生モードになります。
また、電源コードを抜いた状態で3分以上放置すると、プログラムは消去されます。

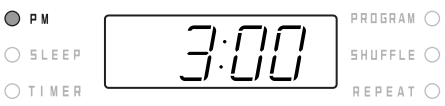
時刻合わせ



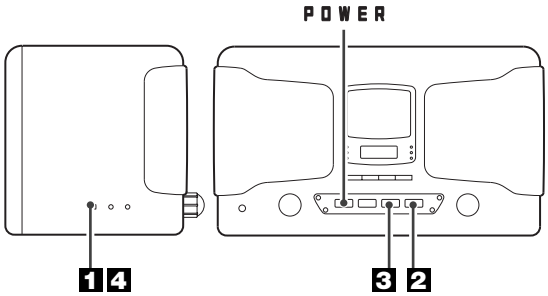
CLOCK ADJUSTボタンを押した状態で、スキップ/サーチボタン(►► ►►I)を押して"時"を、スキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄)を押して"分"を合わせてください。

- 設定が終わったら、指を離してください。
- 電源はオンでもオフでも操作できます。
- 時報に合わせてCLOCK ADJUSTボタンから指を離すと、時刻を正確に設定できます。

- 時計は12時間表示です。午後はPMインジケーターが点灯します。

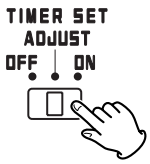


タイマー



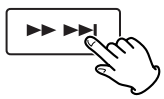
あらかじめ時刻を合わせておいてください。
電源はオンでもオフでも設定できます。

1 TIMER SETスイッチをADJUST (タイマー設定)にする。

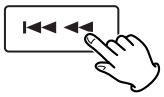


時刻表示が点滅します。

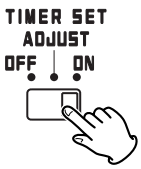
2 スキップ/サーチボタン(►► ►►I)で開始時刻(時)を設定する。



3 スキップ/サーチボタン(I◄◄ ◄◄)で開始時刻(分)を設定する。



4 TIMER SETスイッチをONにして電源を切る。



TIMER SETスイッチをONにすると、TIMERインジケーターが点灯します。

設定した時刻になると、最後に電源を切ったときの状態でタイマー再生またはタイマー受信が始まります。電源を切る前に音量を調節しておいてください。

- 機能切換ボタンでAMまたはFMを選んだ場合は、最後に受信していた放送局がタイマー受信されます。
- CDをタイマー再生する場合は、電源を切る前にCDをセットして機能切換ボタンでCDを選んでおいてください。

電源がオフになっていないと、設定した時刻になってもタイマーは機能しません。タイマーの設定が終わったら、POWERスイッチを押して電源をオフにしてください。
(電源がオフのときは、文字盤が消灯します)

- タイマーの終了時刻を設定することはできません。聴き終わったらPOWERボタンを押して電源を切ってください。
- タイマーを使用しないときは、TIMER SETスイッチをOFFにしておいてください。
- タイマー再生/受信中にTIMER SETスイッチをOFFにすると、電源もオフになります。
- 電源プラグを抜いて3分以上放置すると、タイマーの設定は消去されます。
- 設定した時刻を確認したいときは、TIME SETスイッチをADJUSTにしてください。見終わったら、ONまたはOFFにしてください。

プログラムした曲をタイマー再生するには

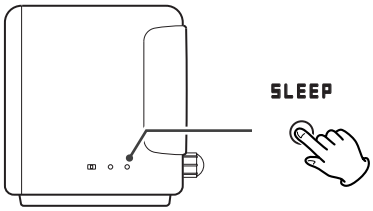
1. タイマーの開始時刻を設定してTIMER SETスイッチをONにする。

2. 12ページの**1**～**3**の手順でプログラムする。

3. プログラムインジケーターが点灯した状態でPOWERスイッチを押して電源を切る。(プログラムインジケーターが消灯している場合は、PROGRAM/SHUFFLEボタンを2回押してプログラムインジケーターを点灯させてから電源を切ってください。)

設定した時刻になると、プログラム再生が始まります。

スリープタイマー



電源がオンの状態でSLEEPボタンを押すと、SLEEPインジケーターが点滅し、"－－"が表示されます。くり返しSLEEPボタンを押して、電源が切れるまでの時間を選んでください。設定した時間になると、電源がオフになります。

→ --（オフ）→ 90分 → 60分 → 30分 ┐

- スリープタイマーを設定すると、ディスプレーの横のSLEEPインジケーターが点灯します。
- スリープタイマーモードを解除するには、SLEEPボタンをくり返し押して"－－"を選んでください。

お手入れ

⚠ お手入れは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

表面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

全般

電源が入らない

➡電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない。

➡音量つまみを右に回して音量を調節してください。

雑音がする。

➡テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。

CDのカバーが閉まらない。

➡カバーの左側を押しても閉まりません。カバーの右端を手で押して閉めてください。

CD

ディスクをセットしても再生できない。

➡機能切換ボタンで"CD"を選んでください。
➡ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡CD-RWは再生できません。
➡CD-Rは、ディスクの品質、録音の状態によっては再生できないことがあります。ディスクを交換してください。
➡ファイナライズしていないCD-Rは再生できません。CDレコーダーなどを使ってファイナライズしてください。

再生/一時停止ボタンを押しても反応しない。

➡機能切換ボタンで"CD"を選んでください。

音飛びする。

➡震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡傷が付いたディスクは交換してください。
➡内部が汚れていると音飛びすることがあります。市販のCDレンズクリーナーでクリーニングしてください。

ラジオ

ラジオを受信できない。雑音が多い。

➡機能切換ボタンでFMまたはAMを選んで、正しく選局してください。
➡FM放送の受信状態が悪いときは、FMアンテナを張り直してみてください。
AM放送の受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

仕　様

■CDプレーヤー部

周波数特性 . . . . . 20Hz～20kHz(±1dB)
ワウ・フラッター . . . . . 測定限界以下

■FMチューナー部

受信周波数 . . . . . 76.0MHz～90.0MHz
アンテナ . . . . . ワイヤーアンテナ

■AMチューナー部

受信周波数. . . . . 522kHz～1,611kHz
アンテナ . . . . . 内蔵フェライトバーアンテナ

■共通部

実用最大出力 . . . . . 3W＋3W (EIAJ)
スピーカー . . . . . 8cm・4Ω×2個

電源 AC100V, 50-60Hz
消費電力 19W
消費電力（待機時）. 3.5W
外形寸法(幅、高さ、奥行) . . 291mm×182×179mm
質量 3.2kg
付属品 . . . . . 取扱説明書、保証書

EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定法によるものです。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容ををご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

17ページの「おや？故障かな？」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ラジオCDプレーヤー　SL-D80

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

ティアック エソテリック カンパニー
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.teac.co.jp/av/
0903-MA-0497E E